

〈みずほ〉は、社会貢献に関する基本姿勢ならびにガイドラインを定め、国内外において数多くの活動に取り組んでいます。

### 「黄色いワッペン」贈呈事業

当グループは、交通事故傷害保険付きの「黄色いワッペン」を全国の新入学一年生に贈呈する交通安全事業を実施しています。39回目となる平成15年は、新たな体制としてみずほフィナンシャルグループ、損害保険ジャパン、安田生命保険、第一生命保険の4社で実施しました。今回までの累計贈呈枚数は4,826万枚に達しています。



### 「みずほの国 子どものための日本小百科」の寄贈



平成14年9月、「みずほの国 子どものための日本小百科」を発刊し、全国の小学校約24,000校に寄贈しました。

### 「全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール」を支援

当グループは、小中学生に対する環境教育を目的として、平成8年より全国小中学校環境教育研究会が主催する「全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール」に協賛しています。



### 「みずほ社会貢献ファンド」の運営

平成14年8月、役職員の社会貢献活動を推進する募金制度として、「みずほ社会貢献ファンド」を設立しました。平成15年5月、本ファンドに積み立てられた募金の中からSARS（重症急性呼吸器症候群）患者と医療職員のため、中華人民共和国衛生省に対し150万円（約10万円）を寄付しました。

### 社会貢献財団の活動

当グループは、「みずほ教育福祉財団」「みずほ福祉助成財団」「みずほ国際交流奨学財団」「みずほ学術振興財団」「みずほ育英会」を通じ、老人福祉、障害者福祉、教育・奨学育英、国際交流および学術研究助成等の事業を支援しています。



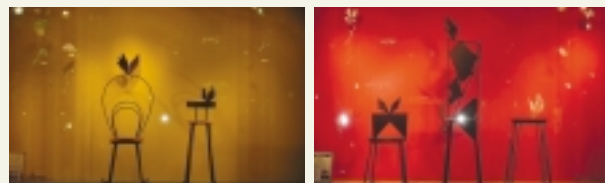
### 成人の日コンサート

平成15年1月、東京・赤坂のサントリーホールにおいて、「成人の日コンサート」を開催しました。「若手アーティストの支援」と「次世代を担う青少年層へのクラシック音楽の普及」を目的として平成2年から毎年実施しているもので、新成人の方100名を公募により招待しました。



### みずほストリートギャラリー

「若手アーティストの発掘・支援」のため、みずほ銀行銀座中央支店と数寄屋橋支店のウィンドウディスプレイ空間を「MIZUHO STREET GALLERY」として提供しています。



## 〈みずほ〉の環境への取り組みについて

〈みずほ〉は環境関連法令を遵守し、ごみの分別回収や再生素材の使用等の省資源・省エネルギーに取り組む等、環境負荷軽減に努める一方、お客さまの環境問題への取り組みを支援するアドバイザー業務や、環境保全に貢献する金融商品やサービスの提供を通じ、金融機関の立場から環境問題に取り組んでいます。

### 環境関連の金融商品・アドバイザーサービス

#### 地球温暖化関連サービス

排出権取引制度の最新情報提供・取引体制構築アドバイザー、CDM/JI\*投資に関するスキーム構築・PDD (Project Design Document) 作成、カーボンファンด์等の資金導入手法の開発、排出権売買のサポート

#### プロジェクトファイナンス

CDM/JIプロジェクト投資ならびに国内風力発電・ごみ焼却炉施設等案件へのアドバイザーおよびファイナンス組成

#### 自然エネルギー関連商品

風速（風力発電）・降水量（水力発電）に関するデリバティブ取引

#### 環境経営コンサルティング

環境経営戦略、環境IR戦略、環境会計、ISO14001認証取得

#### LCA支援サービス

製品・サービスのLCA (Life Cycle Assessment) 実施

※CDM/JI…京都議定書で採択された温室効果ガス排出削減のための仕組み。



幌延風力発電 オートンレイ風力発電所

### 金融業務における環境リスク評価

企業・プロジェクトへの与信判断や、M&A業務における企業価値評価において環境リスクを折り込む事例が増えています。また、土壌汚染対策法の施行（平成15年2月）に基づき、担保不動産の評価に関し土壌汚染が明らかになったものについては、不動産鑑定評価基準等をふまえ、個別に減価等を行うこととしています。

## CS向上への取り組みについて

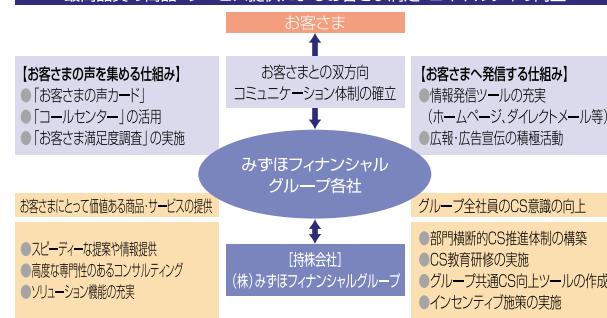
### 「CS（お客さま満足度）トップ」を目指す経営

みずほフィナンシャルグループは、「お客さまを第一とするサービス業としての企業文化」を真に根づかせ、「常にお客さまへの最高のサービス提供を追求しようとする行動」がすべての社員に定着することを推進していきます。

また、お客さまから当グループに寄せられるご不満やご批判等の声については、真摯に受け止め、迅速かつ適切に対応して問題解決を図ります。さらに一歩進めて、これらを経営資源の一つとしてとらえ、問題発生の原因を調査・分析し問題点を明確にしたうえで、未然防止および商品開発・サービス改善につなげる等、グループ全体の経営品質の向上に反映させていきます。

### 「CSトップ」を目指す経営

最高品質の商品・サービス提供によるお客さま満足・ロイヤルティの向上



### 3つのCSを軸に、もう一つのCSを展望

当グループでは、以下の3つのCSを柱として、お客さま満足（Customer Satisfaction）の向上を追求することが、もう一つのCS（Company Success）につながるの考え方のもと、CSを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。今後さらに、全社的なCSマインドの向上を図るとともに、お客さまとのさまざまなコミュニケーション・ツールの整備・統一を目指していきます。

- お客さま中心の判断軸の徹底・CS意識の醸成（Customer-centric Sense）
- お客さまとの双方向コミュニケーション体制の構築（Communication System）
- マーケティング活動を通じた価値ある商品・サービスの提供（Customer Strategy）

Company Success（企業の繁栄・存続）

## 〈みずほ〉の沿革

### 平成11年

- 12月 ●(株)第一勧業銀行、(株)富士銀行、(株)日本興業銀行の3行による、全面的統合に関する契約の締結

### 平成12年

- 4月 ●CD・ATMの相互無料開放実施(3行間「お引き出し」)
- 9月 ●(株)みずほホールディングス設立  
●みずほホールディングスの普通株式を東京証券取引所、大阪証券取引所に上場

- 10月 ●みずほ証券(株)発足  
●みずほ信託銀行(株)発足

### 平成13年

- 3月 ●みずほホールディングスの普通株式をロンドン証券取引所に上場
- 4月 ●みずほ信託銀行、プロダクト営業体制導入(主要業務ごとに事業本部を再編)  
●損害保険窓口販売開始(第一勧業銀行・富士銀行)
- 5月 ●みずほ証券、主要な投資銀行業務をフルラインで取り扱い開始
- 10月 ●「ブランドステートメント」および「ブランドロゴ」を発表
- 11月 ●確定拠出年金業務開始

### 平成14年

- 2月 ●みずほホールディングス、海外子会社による円建て非累積永久優先出資証券(3,565億円)発行
- 4月 ●会社分割および合併により、3行を(株)みずほ銀行、(株)みずほコーポレート銀行に統合・再編  
●みずほ証券、みずほ信託銀行、みずほホールディングスの直接子会社に  
●みずほ銀行、みずほコーポレート銀行とみずほ信託銀行との間で信託代理店制度導入
- 10月 ●変額個人年金保険窓口販売開始(みずほ銀行)  
●証券会社との同一フロアでの共同店舗開始(みずほ銀行)

### 平成15年

- 1月 ●(株)みずほフィナンシャルグループ設立
- 3月 ●みずほホールディングスの普通株式の東京証券取引所、大阪証券取引所、ロンドン証券取引所上場廃止  
●グループ経営体制の再編  
●みずほホールディングス、銀行・証券持株会社として、中間持株会社に  
●みずほフィナンシャルグループの普通株式を東京証券取引所、大阪証券取引所に上場  
●(株)みずほインベスターズ証券、みずほ銀行の子会社に  
●みずほ証券、みずほコーポレート銀行の子会社に  
●みずほ信託銀行、みずほアセット信託銀行(株)が合併、みずほ信託銀行(株)に  
●みずほホールディングス、みずほ信託銀行、戦略子会社等※を、みずほフィナンシャルグループの直接の子会社または関連会社に  
※資産管理サービス信託銀行(株)、第一勧業アセットマネジメント(株)、富士投信投資顧問(株)、興銀第一ライフ・アセットマネジメント(株)、ユーシーカード(株)、みずほ総合研究所(株)、(株)第一勧銀情報システム、(株)富士総合研究所、興銀システム開発(株)、みずほキャピタル(株)
- みずほフィナンシャルグループ発行の、第十一回第十一種優先株式、第十二回第十一種優先株式、第十三回第十三種優先株式の総額1兆819億3千万円の払込手続き完了
- 5月 ●(株)みずほプロジェクト、(株)みずほコーポレート、(株)みずほグローバル、(株)みずほアセット設立
- 6月 ●(株)みずほアドバイザー設立

## ホームページのご案内



みずほフィナンシャルグループ  
URL:<http://www.mizuho-fg.co.jp/>



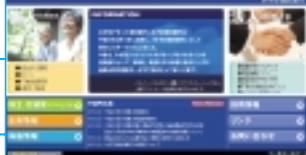
みずほ銀行  
URL:<http://www.mizuhobank.co.jp/>



みずほコーポレート銀行  
URL:<http://www.mizuhocbk.co.jp/>



みずほ証券  
URL:<http://www.mizuho-sc.com/>



みずほ信託銀行  
URL:<http://www.mizuho-tb.co.jp/>

### その他の主なグループ会社ホームページアドレス

みずほインベスターズ証券	URL: <a href="http://www.mizuho-isecc.co.jp/">http://www.mizuho-isecc.co.jp/</a>
新光証券	URL: <a href="http://www.shinko-sec.co.jp/">http://www.shinko-sec.co.jp/</a>
資産管理サービス信託銀行	URL: <a href="http://www.tcsb.co.jp/">http://www.tcsb.co.jp/</a>
第一勧業アセットマネジメント	URL: <a href="http://www.dka.co.jp/">http://www.dka.co.jp/</a>
富士投信投資顧問	URL: <a href="http://www.fimco.co.jp/">http://www.fimco.co.jp/</a>
興銀第一ライフ・アセットマネジメント	URL: <a href="http://www.diam.co.jp/">http://www.diam.co.jp/</a>
ユーシーカード	URL: <a href="http://www.uccard.co.jp/">http://www.uccard.co.jp/</a>
みずほ総合研究所	URL: <a href="http://www.mizuho-ri.co.jp/">http://www.mizuho-ri.co.jp/</a>
第一勧業情報システム	URL: <a href="http://www.dkis.co.jp/">http://www.dkis.co.jp/</a>
富士総合研究所	URL: <a href="http://www.fuji-ric.co.jp/">http://www.fuji-ric.co.jp/</a>
興銀システム開発	URL: <a href="http://www.ibjsystems.co.jp/">http://www.ibjsystems.co.jp/</a>
みずほキャピタル	URL: <a href="http://www.mizuho-vc.co.jp/">http://www.mizuho-vc.co.jp/</a>

本誌には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営を取り巻く環境の変化等による一定のリスクと不確実性が含まれています。

平成15年9月

発行 みずほフィナンシャルグループ 広報部